

(様式第9)

厚生労働大臣

殿

琉大医総第 8.4.6 号

平成

琉球大学医学部附属病院長

瀧下修

琉球大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	51.4 人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	274人	1人	275.0人	看護業務補助	46人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	19人	0人	19.0人	理学療法士	5人	臨床検査技師	35人
薬剤師	25人	0人	25.0人	作業療法士	3人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	2人	その他	0人
助産師	14人	0人	14.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	379人	19人	393.3人	臨床工学技士	5人	医療社会事業従事者	2人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	0人	その他の技術員	7人
歯科衛生士	1人	0人	1.0人	歯科技工士	0人	事務職員	113人
管理栄養士	5人	0人	5.0人	診療放射線技師	21人	その他の職員	29人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	475.4人	20.6人	496人
1日当たり平均外来患者数	1,374.1人	85.4人	1,459.5人
1日当たり平均調剤数			693剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・性腺機能不全の早期診断法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・画像支援ナビゲーション手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <input type="radio"/> 無	0人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・カフェイン併用化学療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・臍腫瘍に対する腹腔鏡補助下臍切除術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
・顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・レーザー応用による齶蝕除去・スクーリングの無痛療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
強度変調放射線治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
胎児心超音波検査	有・ <input type="radio"/> 無	0人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
インプラント義歯	有・ <input type="radio"/> 無	0人
顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	0人
人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	0人
歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	0人
腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/> 無	0人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
超音波骨折治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
眼底三次元画像解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
非生体ドナーから採取された同種骨・靱帯組織の凍結保存	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ペーチェット病	22人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	19人
・多発性硬化症	10人	・ウェゲナー肉芽腫症	3人
・重症筋無力症	25人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	46人
・全身性エリテマトーデス	120人	・多系統萎縮症	6人
・スモン	0人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人
・再生不良性貧血	12人	・膿疱性乾癬	9人
・サルコイドーシス	38人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・筋萎縮性側索硬化症	2人	・原発性胆汁性肝硬変	33人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	66人	・重症急性膵炎	1人
・特発性血小板減少性紫斑病	17人	・特発性大腿骨頭壊死症	61人
・結節性動脈周囲炎	9人	・混合性結合組織病	10人
・潰瘍性大腸炎	110人	・原発性免疫不全症候群	4人
・大動脈炎症候群	24人	・特発性間質性肺炎	8人
・ピュルガー病	28人	・網膜色素変性症	38人
・天疱瘡	32人	・プリオン病	1人
・脊髄小脳変性症	9人	・原発性肺高血圧症	2人
・クローン病	94人	・神経線維腫症	10人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・亜急性硬化性全脳炎	8人
・悪性関節リウマチ	5人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	12人
・パーキンソン病関連疾患	42人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	0人
・アミロイドーシス	1人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	4人
・後縦靭帯骨化症	25人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	1人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	剖検症例検討会 月1回、 研修CPC 月1回、 その他 臨床病理合同検討会 月6回		
剖検の状況	剖検症例数	33 例	剖検率 17.3 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績(18年度分)

1 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
1	小児期の生活習慣病と将来の動脈硬化性心疾患発症に関する研究	太田 孝男	小児科	4,400,000	委 日本学術振興会
2	肺胞上皮細胞増殖因子による肺病変修復促進と転写因子によるその制御機構の解明	須加原 一博	麻酔科	8,800,000	委 日本学術振興会
3	B型、D型肝炎ウイルス重感染患者の長期予後とそれに影響を与える因子の解明	外間 昭	第1内科	100,000	委 日本学術振興会
4	ハブ毒蛋白を用いた悪性脳腫瘍治療応用に関する研究	吉井 與志彦	脳神経外科	1,000,000	委 日本学術振興会
5	非障害性短時間脊髄虚血後モルヒネ誘発性対麻痺の発生機序に関する分子生物学的検討	垣花 学	麻酔科	800,000	委 日本学術振興会
6	生活習慣の末期腎不全発症に及ぼす影響	井関 邦敏	血液浄化療法部	500,000	委 日本学術振興会
7	cineMRIを用いた肺動脈流速測定による二次性肺高血圧の評価法の確立	村山 貞之	放射線科	900,000	委 日本学術振興会
8	大血管手術における新たな脊髄機能モニタリングの開発に関する研究	大城 匡勝	手術部	800,000	委 日本学術振興会
9	婦人科癌のHeparanase発現と血管新生・転移能、さらに転移抑制療法の開発	青木 陽一	産婦人科	1,500,000	委 日本学術振興会
10	沖縄県における緑内障疫学調査(久米島スティー)	澤口 昭一	眼科	200,000	委 日本学術振興会
11	虚血性脊髄運動障害の機能再生のための骨髄幹細胞移植の試み	徳嶺 諒芳	麻酔科	1,600,000	委 日本学術振興会
12	LORERTA及びSPM法を用いた初発統合失調症における脳機能・形態異常の検討	外間 宏人	精神神経科	900,000	委 日本学術振興会
13	悪性神経膠種の放射線治療効果予測における低酸素状態に関連する遺伝子群の意義	小川 和彦	放射線科	1,700,000	委 日本学術振興会
14	てんかんの焦点検索に有用な脳血管内脳波に用いる血管内導出電極の改良と臨床応用	兵頭 明夫	脳神経外科	2,000,000	委 日本学術振興会
15	統合失調症難治化の遺伝的要因の解明	三原 一雄	精神神経科	300,000	委 文部科学省科研費
16	地域テレ(バス)コミュニケーションシステムの構築に関する研究	中山 崇	病理部	600,000	委 文部科学省科研費
17	脊髄虚血性性対麻痺の発現機序と外科的治療、薬物的治療に関する基礎研究	中村 清哉	麻酔科	1,000,000	委 文部科学省科研費
18	骨盤内閉鎖循環下大量抗癌剤灌流療法における抗癌剤濃度モニターについての臨床研究	運天 忍	放射線科	2,800,000	委 文部科学省科研費
19	低活動膀胱への骨髄細胞移植による下部尿路機能の再構築	西島 さおり	泌尿器科	1,370,000	委 日本学術振興会
20	消化管でのシュウ酸吸収と、様々の前駆物質からの内因性シュウ酸合成について	小川 由英	泌尿器科	1,200,000	委 日本学術振興会
21	泌尿器科疾患に関する研究	小川 由英	泌尿器科	1,260,000	補 財団法人 委 沖縄県医科学研究財団
22	狭隅角膜への眼内レンズ挿入術前後の屈折および眼底変化	澤口 昭一	眼科	420,000	補 株式会社ジャムコン
23	ラオス人民民主共和国への口唇口蓋裂治療	砂川 元	歯科口腔外科	1,000,000	補 特定非営利活動法人日 委 本口唇口蓋裂協会

24	血液透析中の差圧変化率の実用化（除水速度と差圧変化率の関係からのソフト開発）	小田 正美	泌尿器科	430,000	補 ⑤	株式会社東レ・メディカル
25	心房内におけるVoltage Mappingの有用性について	島袋 充生	第2内科	390,000	補 ⑤	株式会社メディカン
26	平成18年度HIV感染者等保健福祉相談推進研究	健山 正男	第1内科	425,000	補 ⑤	財団法人エイズ予防財団
27	心血管病の新しい疾患単位としてのメタボリックシンドロームに関する研究	井関 邦敏	血液浄化療法部	2,000,000	補 ⑤	国立循環器病センター
28	カテーテルインターベンションの安全性確保と担当医師の教育に関する指針（ガイドライン）作成に関する研究	兵頭 明夫	脳神経外科	600,000	補 ⑤	国立循環器病センター
29	沖縄地区での遠隔画像診断の運用に関する研究	村山 貞之	放射線科	315,000	補 ⑤	株式会社ネット・メディカルセンター
30	熱帯植物のエストロゲンを活用した天然機能性化粧品の開発	上里 博	皮膚科	100,000	補 ⑤	株式会社バイオ21
31	電磁波を3次元画像として捉える試み	大湾 一郎	整形外科	500,000	補 ⑤	株式会社NSK
32	カテーテル心筋焼灼術におけるエンサイトシステム（ESI-3000、EC1000）の有用性について	島袋 充生	第2内科	390,000	補 ⑤	日本光電工業
33	頭頸部扁平上皮癌根治治療後のTS-1補助化学療法の検討	鈴木 幹男	耳鼻咽喉科	136,500	補 ⑤	財団法人先端医療振興財団
34	ラット膀胱活動に及ぼすエビプロスタットの影響とその機序の検討	菅谷 公男	泌尿器科	1,950,000	補 ⑤	株式会社日本新薬
35	血圧脈派測定装置HEM-9000AIの有疾患患者における測定再現性の調査	東上里 康司	検査部	500,000	補 ⑤	株式会社オムロンヘルスケア
	計			42,886,500		

2. 論文発表等の実績 (平成18年度)

計 210 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
International Journal of Antimicrobial Agents	In vitro activity of sitafloxacin compared with several fluoroquinolones against <i>Streptococcus anginosus</i> and <i>Streptococcus constellatus</i>	Natsuo Yamamoto	第一内科
American Journal of Tropical Medicine and Hygiene	Impairment of host immune response against <i>Strongyloides stercoralis</i> by human T cell lymphotropic virus type 1 infection	Tetsuo Hirata	第一内科
KL-6 information	ニューモシスチス肺炎における血清KL-6値および血性β-Dグルカン値に関する臨床的検討	比嘉 太	第一内科
International Journal of Antimicrobial Agents	Susceptibility of several macrolides and a ketolide against clinically isolated <i>Streptococcus milleri</i> group	Natsuo Yamamoto	第一内科
Japanese Journal of Infectious Disease	Genetic analyses of beta-lactamase negative ampicillin-resistant strains of <i>Haemophilus influenzae</i> isolated in Okinawa, Japan	Toru Kubota	第一内科
Schneller	沖縄県におけるクオンティフェロン検査	藤田次郎	第一内科
Digestive Endoscopy	Efficacy of high-level disinfectants for gastrointestinal endoscope disinfection against <i>Strongyloides stercoralis</i>	Tetsuo Hirata	第一内科
Microbes and Infection	NKT cells play a limited role in the neutrophilic inflammatory responses and host defense to pulmonary infection with <i>Pseudomonas aeruginosa</i>	Takeshi Kinjo	第一内科
Clinical Parasitology	ラオス国セタティラート病院における腸管寄生虫の感染状況	平田哲生	第一内科
Antiviral Reserch	Drug-resistan HIV-1 prevalence in patients newly diagnosed with HIV/AIDS in Japan	Gatanaga H	第一内科
British Journal of Cancer	Phase I/II study of docetaxel and S-1 in patients with advanced gastric cancer	Yamaguchi K	第一内科
J Endocrinol Invest	Rifampin- induced hypothyroidism	Takasu N	第二内科
AJA	Influence of age on exophthalmos and thyrotrophin receptor antibodies (TRAb) in 123 untreated Graves' patients and 560 normal control subjects; clinical usefulness of exophthalmos for the diagnosis of Graves' disease in elderly Japanese	Takasu N	第二内科
Curr Med Liter-Diabetes	Sudden Neural deficit due to hypoglycemia	Ohshiro Y	第二内科
Blood	Dihydroflavonol BB-1, an extract of natural plant <i>Blumea balsamifera</i> , abrogates TRAIL resistance leukemia cells	Hasegawa H	第二内科
Int J Cancer	Curcumin (diferuloylmethane) inhibits constitutive active NF-kappaB, leading to suppression of cell growth of human T-cell leukemia virus type I-infected T-cell lines and primary adult T-cell leukemia cells	Tomita M	第二内科
Int J Cancer	Transactivation of the ICAM-1 gene by CD30 in Hodgkin's Lymphoma	Uchihara JN	第二内科
Leuk Res	Curcumin suppresses constitutive activation of AP-1 by downregulation of JunD protein in HTLV-1-infected T-cell lines	Tomita M	第二内科
Mol Cancer Ther	NIK-333 inhibits growth of human T-cell leukemia virus type I-infected T-cell lines and adult T-cell leukemia cells in association with blockade of nuclear factor-kappaB signal pathway	Okudaira T	第二内科
Intern Med	Cardiac involvement of lung cancer presenting with acute myocardial infarction-like electrocardiographic changes	Kinjo Y	第二内科
Blood	Identification of subtype-specific genomic alterations in aggressive adult T-cell leukemia/lymphoma	Oshiro A	第二内科
Br J Haematol	Transactivation of CCL20 gene by Epstein-Barr virus latent membrane protein 1	Okudaira T	第二内科
Endocrinology	Vascular lipotoxicity: endothelial dysfunction via fatty acid-induced reactive oxygen species overproduction in obese Zucker diabetic fatty rats	Chinen I	第二内科
日本内科学会雑誌	放射性ヨード治療後にPretibial myxedemaを発症したBasedow病の1例	金城祥乃	第二内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
ホルモンと臨床	抗甲状腺剤とワーファリンを投与中、甲状腺ホルモンとPT-INRが同期しつつ複雑に変動したバセドウ病の1例	幸喜毅	第二内科
糖尿病	エパルレスタで改善した、下痢を主訴とするdiabetic gastroenteropathyの1例	幸喜毅	第二内科
日本臨床	バセドウ病とその周辺疾患; 甲状腺ホルモンと心血管系	高須信行	第二内科
肥満と糖尿病	長寿の島沖縄における糖尿病の現状は?	小宮一郎	第二内科
Kyo	甲状腺疾患とヨード	高須信行	第二内科
The Japanese Journal of Constitutional Medicine	沖縄のLifestyle(生活様式)と糖尿病	高須信行	第二内科
日本臨床	糖尿病腎症の分子メカニズムと治療の新展開——腎細胞内分子の制御	大城 謙	第二内科
第49回日本甲状腺学会	甲状腺の臨床と研究	高須信行	第二内科
日本内分泌学会雑誌	バセドウ病とPD-1 intron 4 position 7,209遺伝子多型	幸喜毅	第二内科
日本内分泌学会雑誌	バセドウ病発症とPD-1 intron 4 position 7, 209遺伝子多型の関連について	幸喜毅	第二内科
糖尿病	患者自身が、HbA1Cの結果を覚えている事の意義について	金城ゆかり	第二内科
日本内分泌学会雑誌	バセドウ病の寛解度及び甲状腺自己抗体価とPD-1 intron 4 position 7,209遺伝子多型	砂川澄人	第二内科
日本内分泌学会雑誌	胸腔内出血を来した副腎外多発性褐色細胞腫合併妊娠の1例	平良伸一郎	第二内科
J Clin Endocrinol Metab	Effects of a single administration of acarbose on postprandial glucose excursion and endothelial dysfunction in type 2 diabetic patients: a randomized cross-over study.	Shimabukuro M	第二内科
J Diab Comp	Comparison of the antioxidant and vascular effects of gliclazide and glibenclamide in type 2 diabetic patients: a randomized cross-over study	Shimabukuro M	第二内科
Circ J	Systemic oxidative stress. A potential biomaker for visceral fat obesity and metabolic syndrome	Fujita K	第二内科
Diab Obes Metab	Protein kinase B/Akt signaling is required for palmitate-induced β -cell lipotoxicity	Higa M	第二内科
人間ドック	メタボリックシンドロームの源流を探る長寿県沖縄の復興を目指して	島袋充生	第二内科
人間ドック	本邦におけるメタボリックシンドロームの実態と対策新診断基準をうけて 沖縄におけるメタボリックシンドロームの実態	島袋充生	第二内科
日本老年医学会雑誌	ABIを用いた糖尿病患者における閉塞性動脈硬化症の有病率の検討 糖尿病患者3,906例の解析	前田泰孝	第二内科
日本内分泌学会雑誌	隣インスリン分泌能に対する遊離脂肪酸種別影響の検討	比嘉盛文	第二内科
実地医家のためのQ&A 早期糖尿病	早期糖尿病は血管へどのような影響を及ぼしますか?	島袋充生	第二内科
医学のあゆみ	心血管イベントとNAFLD	島袋充生	第二内科
糖尿病	薬剤溶出ステント内に亜急性閉塞をきたした糖尿病性壊疽の1例	高良正樹	第二内科
糖尿病	耐糖能と脂質プロファイルとの関係	上江洲良尚	第二内科
糖尿病	高インスリン血症と血中遊離脂肪酸(FFA)との関係 FFA分画別検討	比嘉盛文	第二内科